

2008年漁業センサス調査票(案)

(左又は右下)

頁

1	海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）・・・・・・・・・・	1
2	〃	漁業経営体調査票Ⅱ（会社用）・・・・・・・・・・	9
3	〃	漁業経営体調査票Ⅲ（漁業協同組合等用）・・・・・・・・・・	17
4	〃	漁業経営体調査票Ⅳ（共同経営用）・・・・・・・・・・	23
5	〃	漁業管理組織調査票・・・・・・・・・・	29
6	〃	海面漁業地域調査票・・・・・・・・・・	33
7	内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）・・・・・・・・・・	37
8	〃	内水面漁業経営体調査票Ⅱ（会社・団体用）・・・・・・・・・・	45
9	〃	内水面漁業地域調査票・・・・・・・・・・	51
10	流通加工調査	魚市場調査票・・・・・・・・・・	55
11	〃	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票・・・・・・・・・・	57



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅰ（案）
（個人経営体用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（個人経営体用）」の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〈市町村連絡先〉

〔事務処理欄〕

区分コード

経営組織コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号	1：共同経営に参加 2：共同経営に不参加
市区町村名		漁業地区名		漁業集落名			

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

		すべての世帯員				うち、満14歳以下の世帯員			
701	男								
702	女								

2 家としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

711	専業	兼業	
	漁業が主	他が主	
	1	2	3

兼業の場合は、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）の収入が多い方を「主」としてください。

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成5年10月31日午前零時までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業を行った人をのれなく記入してください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

名 前 (経営主(本人)との 続き柄やABC等の 記号でもかまいません。)	平成20年11月1日現在の満年齢														男女の別	
	15 ~ 19 歳	20 ~ 24 歳	25 ~ 29 歳	30 ~ 34 歳	35 ~ 39 歳	40 ~ 44 歳	45 ~ 49 歳	50 ~ 54 歳	55 ~ 59 歳	60 ~ 64 歳	65 ~ 69 歳	70 ~ 74 歳	75 歳 以上	男	女	
	い ず れ か に ○ 印														いずれかに ○ 印	
731	経営主	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
732	漁 業 を 行 っ た 人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
733		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
734		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
735		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
736		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
737		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
738		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2

3 自家漁業の後継者の有無
当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	有	無
721	1	2

→ (2) 過去1年間の漁業以外の仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	自 営 業				勤 め
	水産加工業	民 宿	遊 船 漁 業	その他	
712	1	2	3	4	5

(3) 過去1年間の延べ利用者数を記入してください。
万 千 百 十 (人)

民 宿	713				
遊 船 漁 業	714				

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
現在、自家漁業を行っていないなくてもかまいません。

6ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

過 去 1 年 間 に し た 仕 事																			
数	自家漁業の海上作業日	種類	数が最も多かった漁業	の漁業種類で使った船の大きさ			漁業の海上作業	10月下旬に行った自家漁業の陸上作業	自家漁業以外に漁業を始めた人	過去1年以内に漁業を卒業した人	今年3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多い仕事	日数の多い方		
				漁船非使用	10トン未満	10トン以上											自家漁業	ほかの仕事	
(日)	全国漁業種類番号を記入	いずれかに印	当てはまる人に○印											下当てはまる番号を記入	いずれかに○印				
			1	2	3													1	2
			1	2	3													1	2
			1	2	3													1	2
			1	2	3													1	2
			1	2	3													1	2
			1	2	3													1	2
			1	2	3													1	2

海上作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

- 1 : 自家漁業
- 2 : 自家漁業以外の自営業
- 3 : 共同経営の漁業の仕事
- 4 : 雇われて漁業の仕事
- 5 : 雇われて漁業以外の仕事

Ⅱ 自家漁業に雇った人

1 海上作業に雇った人数

(1) 11月1日現在の海上作業に雇った人数を記入してください。

(人)

計 (+)	日本人 (+ +)	居住地			うち、過去 1年以内に 漁業を始め た人	外国人
		同一 市町村	その他 の県内	県外		
201						

過去1年以内に漁業を始めた人とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者（他の産業に従事等）
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者（学生等）

(2) の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。

(人)

計		海上作業を行った人数		うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
15～19歳	212				
20～24歳	213				
25～29歳	214				
30～34歳	215				
35～39歳	216				
40～44歳	217				
45～49歳	218				
50～54歳	219				
55～59歳	220				
60～64歳	221				
65～69歳	222				
70～74歳	223				
75歳以上	224				

2 陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

(人)

計	231			
男	232			
女	233			

Ⅲ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
（借りた漁船も含めます。）

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数を記入してください。（借りている漁船も含めます。）

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

	無動力漁船	船外機付漁船
302		
303		

（隻）

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 （借りた漁船も含めます。）						11月1日現在で 持っている動力漁船			
	ト ン 数 （小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。）					11月1日現在で		過去1年間の 出漁日数	販売金額が最も 多かった漁業種類	
						持っている	持っていない			
	(トン) 小数点					い ず れ か に ○ 印		(日)	全国漁業種類 番号を記入	
401						1	2			
402						1	2			
403						1	2			
404						1	2			
405						1	2			
406						1	2			
407						1	2			
408						1	2			
409						1	2			
410						1	2			

借りている漁船は含めません。貸して

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

6ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

養殖を行っていない場合は8ページの「4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台数	521	
----	-----	--

百十(m²)

平均面積	522	
------	-----	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523	
-----	--

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 (台)

台 数 531

万 千 百 十 (m²)

平均面積 532

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としてください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、電話番号の記入をお願いします。

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅱ（案）
（会社用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（会社用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

〔統計調査員〕	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〈市町村連絡先〉

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

本社名

本社所在地

都	道	市
府		区
県		村

事業所名

2～6ページは、事業所について記入してください。

I 事業所の概要

1 本所・支所の区分と会社の種類

それぞれ当てはまる番号を一つで囲んでください。

(旧有限会社は、株式会社に含めます。)

本 所 ・ 支 所 の 区 分			会 社 の 種 類		
単独事業所	本所・本社	支所・支社	株 式	その他	
801	1	2	3	1	2

2 11月1日現在の従業者数

漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。

(本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業者数ではなく、本所・本社のみ
の従業者数を記入してください。)

(人) 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

II 漁業の従業者

1 海上作業の従業者数

(1) 11月1日現在の海上作業の従業者数を記入してください。

計		201			
日 本 人		202			
居 住 地	同 一 市 町 村	203			
	その他の県内	204			
	県 外	205			
うち、新規就業者		206			
外 国 人		207			

(2) の日本人のうち、過去1年間(平成19年11月1日～平成20年10月31日)に30日以上海上作業に従事した人数を記入してください。

		(人)			
		海上作業従業者数		うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
15～19歳	212				
20～24歳	213				
25～29歳	214				
30～34歳	215				
35～39歳	216				
40～44歳	217				
45～49歳	218				
50～54歳	219				
55～59歳	220				
60～64歳	221				
65～69歳	222				
70～74歳	223				
75歳以上	224				

新規就業者とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者(過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。)
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者(他の産業に従事等)
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者(学生等)

2 陸上作業の従業者数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従業者数を記入してください。

計	231			
男	232			
女	233			

Ⅲ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
（借りた漁船も含めます。）

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で保有している隻数を記入してください。（借りている漁船も含めます。）

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

無動力漁船	船外機付漁船	（隻）
302		
303		

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

過去1年間に使用した動力漁船 （借りた漁船も含めます。）					11月1日現在で 保有している動力漁船				
ト ン 数 （小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。）					11月1日現在の保有の有無		過去1年間の出漁日数		販売金額が最も多かった漁業種類
					保有している	保有していない			
（トン） 小数点					いずれかに印		（日）		全国漁業種類番号を記入
401					1	2			
402					1	2			
403					1	2			
404					1	2			
405					1	2			
406					1	2			
407					1	2			
408					1	2			
409					1	2			
410					1	2			

借りている漁船は含めません。貸している漁船は含めます。

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
船びき網		106	
ま き ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
中・小型まき網		111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
さんま棒受網		115	
大型定置網		116	
さけ定置網		117	
小型定置網		118	
その他の網漁業		119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
その他のはえ縄		123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
小型捕鯨		132	
潜水器漁業		133	
採貝・採藻		134	
その他の漁業		135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
ほたてがい養殖		142	
かき類養殖		143	
その他の貝類養殖		144	
くるまえび養殖		145	
ほや類養殖		146	
その他の水産動物類養殖		147	
こんぶ類養殖		148	
わかめ類養殖		149	
のり類養殖		150	
その他の海藻類養殖		151	
真珠養殖		152	
真珠母貝養殖		153	

2 地方選定漁業種類について

過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

[illegible][illegible]

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

 (m^2)

借りている施設の面積
も含めます。

借りている施設の面積も含めます。		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

・(2) ほたてがい養殖・

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台	数	521				
---	---	-----	--	--	--	--

百十(m^2)

平均面積	522					
------	-----	--	--	--	--	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万千百十(m)

[illegible]

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 (台)

台 数 531

万 千 百 十 (m²)

平均面積 532

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としててください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

I の 1 の本所・支所の区分が「本所・本社」の場合に記入してください。

V 支所・支社も含めた会社全体について

1 支所・支社も含めた会社全体の従業員数

万 千 百 十 (人)

計	803								
常時従業員	804								
そ の 他	805								

2 資本金

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

(株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。)

	100 万円 未満	100 万 ~	200 万 ~	500 万 ~	1,000 万 ~	3,000 万 ~	5,000 万 ~	1 億 ~	10 億 円 以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3 漁業の専業・兼業

(1) 過去 1 年間に行った事業が漁業のみの場合は「 2」、他の事業も行った場合は「 1」に○印を記入してください。

	兼 業	専 業
807	1	2

「専業」の場合は「4 事業別の子会社数」へ進んでください。

(2) 過去 1 年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	25% 未満	25 ~	50 ~	75% 以上
808	1	2	3	4

(3) 過去 1 年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。
そのうち販売金額が最も多かったものに「①」を記入してください。

	事業所の数	「販売金額が最も多かったもの」を記入
製造業	水産加工業 811	
	そ の 他 812	
卸売・小売業、飲食業	813	
サ ー ビ ス 業	814	
その他	冷蔵倉庫業 815	
	そ の 他 816	

(4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数)

817		
-----	--	--

4 事業別の子会社数

事業別に子会社数を記入してください。

漁 業	821	
製造業	水産加工業 822	
	そ の 他 823	
卸売・小売業、飲食業	824	
サ ー ビ ス 業	825	
その他	冷蔵倉庫業 826	
	そ の 他 827	

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅲ（案）
（漁業協同組合等用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（漁業協同組合等用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〈市町村連絡先〉

〔事務処理欄〕

区分コード

経営組織コード

大海区 都府県（支庁） 市区町村 漁業地区 調査区 漁業集落 客体番号

- - - - - -

4：漁業協同組合
5：漁業生産組合
7：その他

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

代表者氏名

I 直接行った漁業の従事者

1 海上作業の従事者数

(1) 11月1日現在の海上作業の従事者数を記入してください。

(人)

計 (+)	日本人 (+ +)	居住地			うち、 新 規 就 業 者	外国人
		同 一 市 町 村	そ の 他 の 県 内	県 外		
201						

数字は、算用
数字で1マスに
1字ずつ右に詰
めて記入してく
ださい。

新規就業者とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・ 他の仕事の主であったが、漁業が主となった者（他の産業に従事等）
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者（学生等）

(2) の日本人のうち、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に30日以上海上作業に従事した人数を記入してください。

(人)

		海上作業を行なった人数		うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
15～19歳	212				
20～24歳	213				
25～29歳	214				
30～34歳	215				
35～39歳	216				
40～44歳	217				
45～49歳	218				
50～54歳	219				
55～59歳	220				
60～64歳	221				
65～69歳	222				
70～74歳	223				
75歳以上	224				

2 陸上作業の従事者数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従事者数を記入してください。

(人)

計	231	
男	232	
女	233	

Ⅱ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で保有している隻数を記入してください。(借りている漁船も含めます。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

	無動力漁船	船外機付漁船
302		
303		

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船も含めます。)					11月1日現在で 保有している動力漁船			
	ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)					11月1日現在の保有の有無 保有している 保有していない		過去1年間の出漁日数	販売金額が最も多かった漁業種類
	(トン)	小数点	い ず れ か に 印					(日)	全国漁業種類番号を記入
401			1	2					
402			1	2					
403			1	2					
404			1	2					
405			1	2					
406			1	2					
407			1	2					
408			1	2					
409			1	2					
410			1	2					

借りている漁船は含めません。貸している漁船は含めます。

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅲ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収獲物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積
も含めます。

		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台数	521	
----	-----	--

百十(m²)

平均面積	522	
------	-----	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523	
-----	--

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 (台)

台 数 531

万 千 百 十 (m²)

平均面積 532

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としてください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅳ（案）
（共同経営用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（共同経営用）」の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〈市町村連絡先〉

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

I 共同経営について

1 出資金

現物出資を除く出資金について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

出資額の範囲別										
出資金なし又は 現物出資のみ	10万円未満	10万 ～	30万 ～	50万 ～	100万 ～	200万 ～	500万 ～	1,000万 ～	3,000万円以上	
831	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

2 出資した人数

出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。(人)

832

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

現物出資とは、漁船や漁網などのもちよりをいいます。

II 共同経営の漁業を行った人

1 海上作業を行った人数

(1) 11月1日現在の海上作業を行った人数を記入してください。(人)

(2) 〃の日本人のうち、過去1年間(平成19年11月1日～平成20年10月31日)に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。(人)

計	201			
日本人	202			
居住地				
同一市町村	203			
その他の県内	204			
県外	205			
うち、過去1年以内に漁業を始めた人	206			
外国人	207			

過去1年以内に漁業を始めた人とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者(過去に漁業に従事していた、再び漁業を始めた者を含む。)
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者(他の産業に従事等)
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者(学生等)

2 陸上作業を行った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に行った人数を記入してください。(人)

計	231			
男	232			
女	233			

		海上作業を行った人数				うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女	男	女
計	211						
15～19歳	212						
20～24歳	213						
25～29歳	214						
30～34歳	215						
35～39歳	216						
40～44歳	217						
45～49歳	218						
50～54歳	219						
55～59歳	220						
60～64歳	221						
65～69歳	222						
70～74歳	223						
75歳以上	224						

Ⅲ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
（借りた漁船も含めます。）

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数を記入してください。（借りている漁船も含めます。）

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

	無動力漁船	船外機付漁船
302		
303		

（隻）

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 （借りた漁船も含めます。）						11月1日現在で 持っている動力漁船			
	ト ン 数 （小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。）					11月1日現在で		過去1年間の 出漁日数	販売金額が最も 多かった漁業種類	
						持っている	持っていない			
	(トン) 小数点					い づ れ か に ○ 印		(日)	全国漁業種類 番号を記入	
401						1	2			
402						1	2			
403						1	2			
404						1	2			
405						1	2			
406						1	2			
407						1	2			
408						1	2			
409						1	2			
410						1	2			

借りている漁船は含めません。貸して

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積も含めます。		養殖場の施設面積		うち、使用している面積	
魚類養殖の合計	511				
うち、ぶり類	512				
うち、まだい	513				
うち、ひらめ	514				
陸上水槽	515				
うち、まぐろ類	516				

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台数	521	
----	-----	--

百十(m²)

平均面積	522	
------	-----	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523	
-----	--

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 (台)

台 数 531

万 千 百 十 (m²)

平均面積 532

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
(かご100つりを1台としてください。)

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
(かご100つりを1台としてください。)

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としてください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業管理組織調査票（案）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業管理組織調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去5年間の場合は、平成15年1月1日から平成19年12月31日までの5年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名
	-	-	-		

I 11月1日現在の参加漁業経営体

1 管理組織に参加している漁業経営体数を記入してください。

101				
-----	--	--	--	--

(経営体)

数字は、算用数字で1マスに1文字ずつ右に詰めて記入してください。

2 管理対象漁業種類別の参加漁業経営体数を記入してください。

		(経営体)			
底びき網	小型底びき網	111			
	上記以外の底びき網	112			
船びき網		113			
刺網		114			
定置網		115			
はえ縄		116			
釣		117			
採貝・採藻		118			
その他の漁業		119			
海面養殖業		120			
上記以外の漁業		121			

3 参加漁業経営体がある地域範囲について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	1 市区 町村内	複数の 市区町村	各都道府県 内の全域	複数の 都道府県
131	1	2	3	4

Ⅱ 漁業管理

- 1 過去5年間（平成15年1月1日～平成19年12月31日）に自主的な漁業管理を行った、すべての管理対象魚種に○印を付けてください。

かつお・まぐろ類	201		さ わ ら 類	213		ほ た て が い	225	
さ け ・ ま す 類	202		い か な ご	214		そ の 他 の 貝 類	226	
さ ば 類	203		ふ ぐ 類	215		い か 類	227	
ぶ り 類	204		そ の 他 の 魚 類	216		た こ 類	228	
ひ ら め	205		い せ え び	217		う に 類	229	
か れ い 類	206		く る ま え び	218		な ま こ 類	230	
す け と う だ ら	207		そ の 他 の え び 類	219		そ の 他 の 水 産 動 物 類	231	
は た は た	208		が ざ み 類	220		こ ん ぶ 類	232	
あ な ご	209		そ の 他 の か に 類	221		そ の 他 の 海 藻 類	233	
は も	210		あ わ び 類	222		そ の 他	234	
ま だ い	211		さ ざ え	223		魚 種 不 特 定	235	
そ の 他 の た い 類	212		あ さ り 類	224				

2 過去5年間に行った漁業管理の内容

- (1) 漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

ただし、試験的に行ったものや、継続性の無いものは除きます。

漁業資源の管理					漁 場 の 保 全 ・ 管 理							
資 源 量 の 把 握	漁 獲 （ 収 獲 ） 枠 の 設 定	漁 業 資 源 の 増 殖	そ の 他	漁 場 の 保 全	う ち 、 藻 場 ・ 干 潟 の 維 持 管 理	う ち 、 合 成 洗 剤 不 使 用 の 取 組	漁 場 の 造 成	漁 場 利 用 の 取 決 め	漁 場 の 監 視	植 樹 活 動 、 魚 つ き 林 の 造 成	そ の 他	
241	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(2) 漁獲管理の具体的な規制内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

		漁 期 の 規 制	漁 法 の 規 制	漁 船 隻 数 の 規 制	漁 船 ト ン 数・馬 力 数 の 規 制	漁 具 の 規 制	出 漁 日 数 の 規 制	操 業 時 間 の 規 制	操 業 人 員 の 規 制	漁 獲 (収 獲) サイ ズ の 規 制	漁 獲 量 (収 獲 量) の 規 制	そ の 他
法制度による規制	251	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
自主規制	252	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

3 過去5年間に行った漁業管理に係る調整について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	管理組織内の漁業 種類間の調整	漁協地区内の他の 漁業種類との調整	他の漁協地区・市 町村等との調整	遊漁との調整
261	1	2	3	4

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
海面漁業地域調査票（案）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、過去1年間で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入**してください。過去5年間の場合は、**平成15年1月1日から平成19年12月31日までの5年間について記入**してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名

I 生産条件

1 漁場環境の変化

- (1) 漁業協同組合の管轄区域内における過去5年間（平成15年1月1日～平成19年12月31日）の漁業権の放棄面積について、年次別（暦年）に記入してください。

漁業権の放棄がない場合は、次ページの「2 遊漁の状況」に進んでください。

		万 千 百 十 (m ²)			
平成15年	101				
平成16年	102				
平成17年	103				
平成18年	104				
平成19年	105				

- (2) 上記の漁業権放棄の原因について、当てはまる番号すべて○で囲んでください。
また、そのうち、主な原因について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

			埋め立て					その他の
			港湾・漁港の建設	道路建設	宅地造成	工業用地造成	その他	
当てはまる番号をすべて○で囲みます。	原因	111	1	2	3	4	5	6
当てはまる番号を一つ○で囲みます。	主な原因	112	1	2	3	4	5	6

2 遊漁の状況

- (1) 過去 1 年間 (平成19年11月 1 日 ~ 平成20年10月31日) の漁業協同組合の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	取組あり	取組なし
121	1	2

「取組なし」の場合は、へ進んでください。

「取組あり」の場合は、(2) にもお答えください。

- (2) 取組の具体的な内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(漁業協同組合単独の取組は除きます。)

資 源 保 護	資源増殖	環 境 保 全	そ
体 長 規 制	稚 魚 等 の 放 流	海 岸 清 掃	藻 場 ・ 干 潟 の 造 成 ・ 管 理
禁 止 区 域 の 設 定	そ の 他	漁 場 清 掃	そ の 他
採 捕 時 期 等 の 規 制	そ の 他	そ の 他	そ の 他
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

「その他」の場合は、具体的に記入してください。

Ⅱ 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

		万 千 百 十 (人)				
漁 業 体 験	141					
魚 食 普 及 活 動	142					
そ の 他	143					

- 2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		施設数	年 間 利 用 者 数 万 千 百 十 (人)				
水産物直売所	151					0	0

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：